

～消費電力約 40%削減で省エネルギーに貢献～

駅構内の照明に LED を導入します

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、駅改良工事等に合わせ、駅構内に LED 照明を平成 24 年 2 月から導入いたします。

東京メトロは、環境にやさしい地下鉄を目指して、これまでも副都心線の案内サインシステムなどに LED を導入してきましたが、このたび、従来の蛍光灯並みの明るさを発揮する不燃性の LED 照明を駅構内の照明へ導入することといたしました。

駅構内照明を従来の蛍光灯から LED 照明に交換することで、駅構内照明における消費電力の 40%程度の削減が見込まれ、省エネルギーとなるほか、長寿命でもあり交換周期が約 3 倍となるため、廃棄物の削減にもつながり、環境負荷低減に貢献できるものと考えています。

導入駅及び導入予定時期は、下記のとおりです。

なお、その他の駅への導入については、今後、駅改良工事計画等を踏まえながら検討していきます。

記

<平成 24 年 2 月導入予定>

田原町駅

<平成 24 年度導入予定>

荻窪駅（※）、東銀座駅、八丁堀駅（※）、浦安駅、赤羽岩淵駅（※）

<平成 25 年度導入予定>

神田駅（※）、豊洲駅

<平成 26 年度導入予定>

千駄木駅、大手町駅（丸ノ内線、千代田線、半蔵門線）

<平成 27 年度導入予定>

大手町駅（東西線）

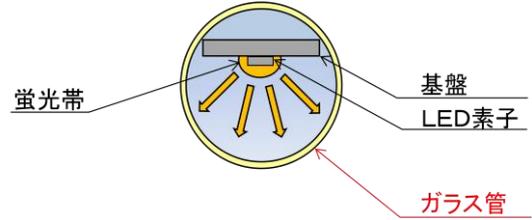
（※）駅構内の一部に導入いたします。



LED 照明を導入した浦安駅（イメージ）

【不燃性のLED照明】

従来のLED照明では、ランプ部分に樹脂製素材が使用されていましたが、この部分に不燃材であるガラスを用いることにより、火災にも強い仕様となっています。



ガラスを用いたLED照明(断面図)

(従来の蛍光灯とLEDの比較)

	従来の蛍光灯	LED
電力	47W	29W
寿命	12,000 時間	40,000 時間
明るさ	—	従来品と同等
環境	・ 水銀を含む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従来品に比べ、CO₂削減効果大きい ・ 水銀を含まない

※LED照明の導入による効果（平成24年度導入分）

- ・ 交換本数：約1,700本
- ・ 電力削減量：約259,000kWh/年
- ・ CO₂削減量：約140t-CO₂/年

～ 銀座線新型車両1000系にもLED照明を導入しています ～

平成24年春に導入を予定している銀座線新型車両1000系は、東洋初の地下鉄を彷彿とさせる車体デザインを採用する一方で、数々の最新技術を取り入れた、快適で独創性の高い車両となっており、永久磁石同期モータ（PM SM）を使用するなど、環境にやさしい車両となっています。この1000系車両にも、前照灯及び車内灯にLED照明を導入しています。前照灯への導入は国内初となります。

